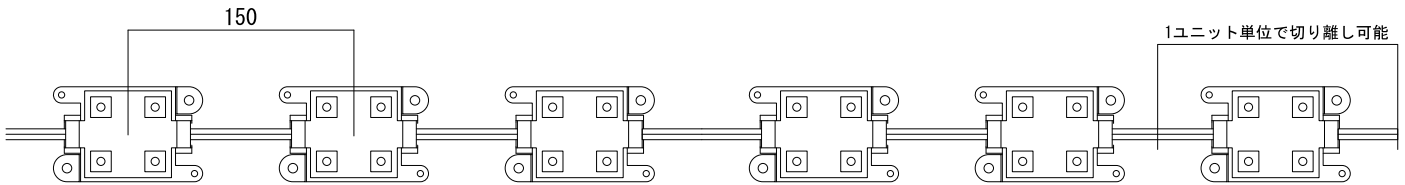


## 【製品説明】 《ML-V-W4-DC24V シリーズの取扱いについて》

- ・製品1セットは1ユニットが30ブロック繋がっている状態です。
- ・1ブロックは1個のユニットで構成されています。1ユニットからの使用が可能となっております。
- ・DCタイプの使用には、別途電源が必要となります。必ずDC24V用の電源を使用してください。



### 1 チャンネル文字

- ・水気、油分をふき取ってください(画1-1)  
※両面シールの接着力が低下します

**推** チャンネル文字の内側は白塗装、反射シート貼りつけを推奨します



画1-1

### 2 ユニットの配置

- ・チャンネル文字の底に一定間隔でユニットを配置します(画2-1)
- ・ユニットの両面シールのシートをはがし、貼り付けます  
※完全に接着するまで24時間かかります

**推** ユニット貼付後、上下をコーキング処理するとより剥れにくくなります  
・ビス止めの場合はM4ビスにて取付してください

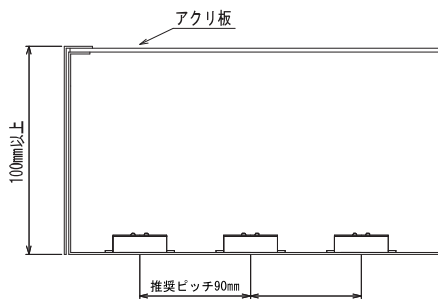
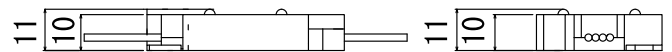
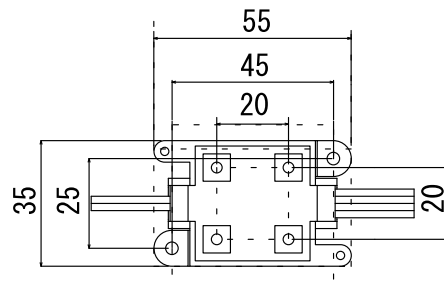


図2-1



### 3 ユニットの結線

- ・ML-R4 4ユニットの最大接続数は90個、ML-R2 2ユニットの最大接続数は120個です
- ・ユニットを追加接続する場合は極性(+)、(-)に注意してください ※+、-を逆に結線すると故障する恐れがあります  
※(白白)線は+、(白黒)線-です
- ・ユニットを途中で切断し、つなぎ合わせ接続結線は防水、絶縁処理を行ってください(画3-1、画3-2)

**推** 推奨防水スリーブ 《メーカー:ニチフ 型式:SB1816》

### 4 チャンネル文字内 総W数計算とDC電源容量選定の計算

#### ＜基本計算＞

1ユニットのW数×使用配置個数=チャンネル文字内総W数  
チャンネル文字内総W数×安全率≒DC電源容量

(例)ML-R4を100個とML-R2を100個場合(表4-1)

$0.84W \times 100個 + 0.42W \times 100個 = 84W + 42W = 126W$ (総W数)

$126W \times 1.5 = 189W \approx 200W$ (DC電源容量)

型式	1ユニット(W)	型式	1ユニット(W)
ML-R4(赤)	0.84W	ML-R2(赤)	0.42W
ML-Y4(黄)	0.84W	ML-Y2(黄)	0.42W
ML-G4(緑)	0.6W	ML-G2(緑)	0.3W
ML-B4(青)	0.6W	ML-B2(青)	0.3W
ML-W4(白)	0.6W	ML-W2(白)	0.3W

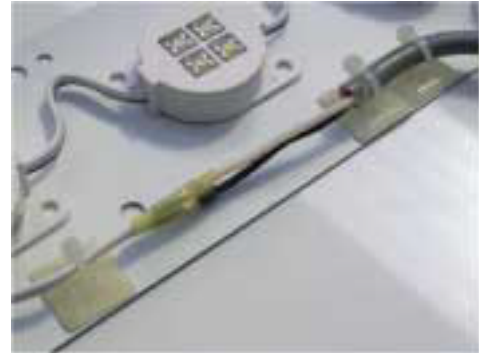
表4-1

## 5 チャンネル文字とDC電源の配線接続

- ・チャンネル文字から電源BOX(DC電源)までの配線を接続します
- ・チャンネル文字の底に穴を開け、防水のケーブルクランプを取付ける(画5-1)
- ・ユニットの線と電源ボックスまでの線の接続は防水、絶縁処理を行ってください(画5-2)

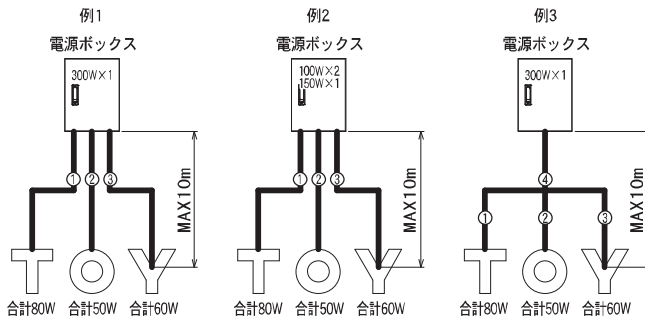


画5-1



画5-2

【配線例】各文字から電源BOXまでの配線例



1文字の総W合計	電線種類
100W以下	VCTF 1.25sq 2芯
150W以下	VCTF 2.0sq 2芯
250W以下	VCTF 3.5sq 2芯
350W以下	VCTF 5.0sq 2芯

※DC電源までのケーブルの長さは10m  
以内で配線してください

表5-1

### 【配線選定例】

各文字から電源ボックスまでの線の選定(表5-1参照)

- ①は『T』文字合計は80W=VCTF 1.25sq 2芯
- ②は『O』文字合計は50W=VCTF 1.25sq 2芯
- ③は『Y』文字合計は60W=VCTF 1.25sq 2芯
- ④は①+②+③+の合計190W=VCTF 3.5sq2芯

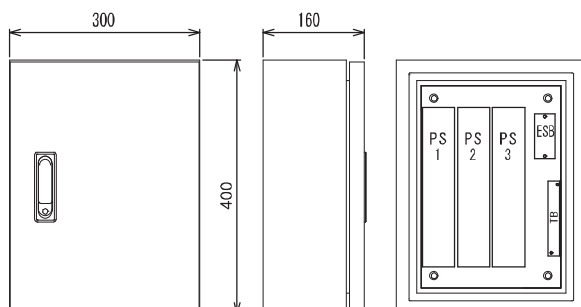
- ・電源ボックス内の端子に接続します(画5-3)
- ※極性(+、-)には注意してください



画5-3

## 6 電源ボックスについて

- ・DC電源から発熱しますので、ボックスに通気孔、又は換気FANを設置してください
- ・屋外設置の場合は防水ボックスを選定してください ※漏電ブレーカーを必ず設置してください



PS : DC電源 (AC/DC12V) 150W  
ESB: 漏電ブレーカー  
TB : AC100V又は200V入力  
 : DC12V出力文字看板へ